

■「効果の見える治水事業」

□高知県 吉良川西海岸(奈良師工区)の侵食対策事業

高知県海岸課 課長 まつもと くにしげ 松本 州兄



<地域の概要>

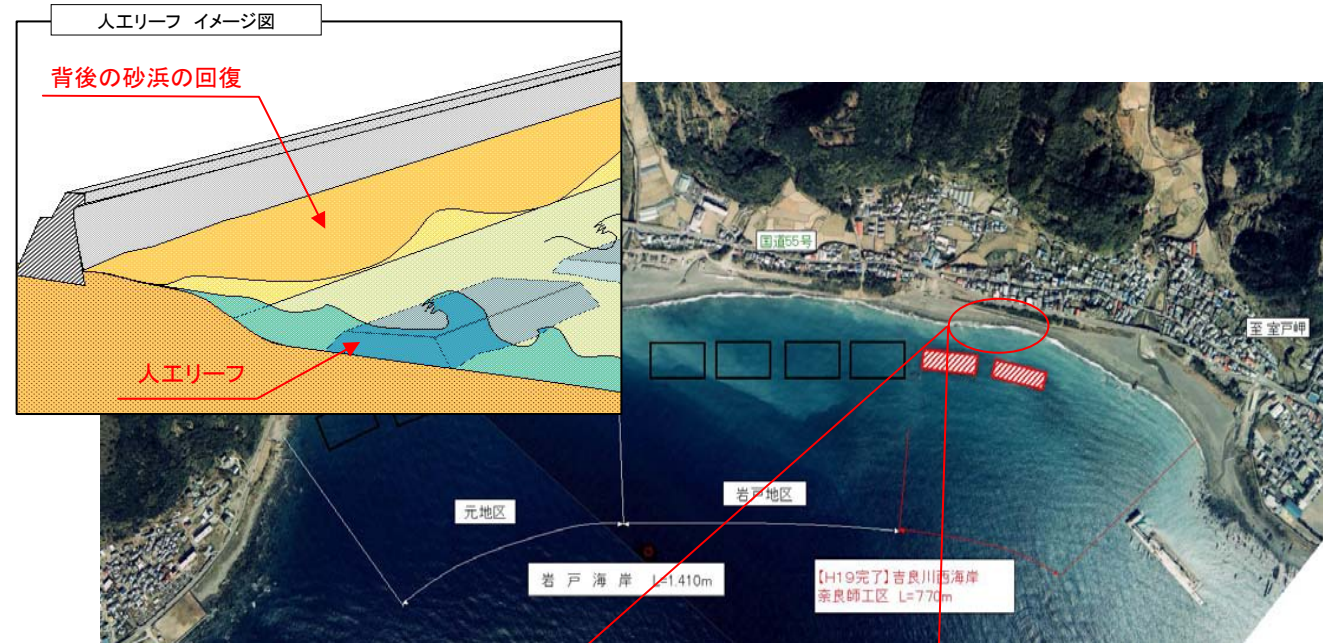
本海岸は、土佐湾に面した高知県東部の室戸市に位置し、隣接する岩戸海岸(岩戸地区・元地区)とともに、一連の海岸を形成し、背後には多くの民家があります。また、県東部の唯一の幹線道路である国道55号は、海岸と平行していることから、防災対策上重要な海岸です。

一方、室戸・阿南海岸国立公園内に位置し、四季を問わず多くの人々が訪れる風光明媚な地域にあり、アカウミガメの産卵も確認されている自然豊かな海岸でもあります。

以前は、広大な砂浜を有していましたが約50年間で40m程度も砂浜が後退し、平成8年8月の台風12号をはじめ、台風等の高波浪時には越波被害が生じ、幹線道路かつ生活道として重要な国道の通行止が頻繁に発生し、住民の生活に多大な影響を及ぼしています。

<侵食対策事業の概要>

平成11年度より吉良川西海岸奈良師工区として侵食対策事業に着手しました。周辺の自然環境に配慮し、ウミガメの上陸を妨げずに、打ち上げ高を低減できる人工リーフでの整備を開始しました。平成19年度までに、総事業費約10億円を投入し、人工リーフ2基(L=240m)を完成させ、背後の砂浜回復とともに、背後への越波被害の減少をはかりました。



人工リーフ設置前(平成10年)と比べ、整備後は、背後の砂浜について、回復が見られる

談 話 室

□海岸侵食対策とお祭り

室戸市長 こまつ けんじ 小松 幹侍



室戸市は、県都高知市の東方78kmに位置しており、総面積248km²に人口17,848人が生活している町であります。

室戸岬を挟んで東側でダルマ朝日が、西側でダルマ夕陽を眺めることが出来ます。

また、空海伝説と共に四国霊場88カ所の内3つの札所がございます。

そして、太平洋から水揚げされる室戸の新鮮なお魚や地域のお野菜など大変おいしいという評判があります。近年は海洋深層水の売り出しにも力を入れており、深層水商品、深層水プール、タラソテラピーが体感できるホテルなどがございます。

また、森林面積が市全体の85%を占め、森林の町でもあります。その森林から生産される炭の産業によって吉良川地区が繁栄し、当時の建物が残っており、「国の重要伝統的建造物群保存地区」の指定も受けております。

最近では、ドラマでの撮影などでたびたびテレビ等に紹介されております。

平成11年度より着手された吉良川西海岸(奈良師工区)につきましては、侵食対策事業実施部分についての砂浜の回復が見られております。今後においては引き続き岩戸地区・元地区の事業が早期に実施され、この地区の秋祭りである「神祭」や、海の安全祈願の「シットロト踊り」など、地元行事が以前のように広い砂浜で開催される事を期待しております。

今後とも、自然との共生を図り、地域で安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。



バーデハウス室戸(海洋深層水を利用したプールの状況)

みくろどう(空海が修行をした洞窟)



シットロト踊り(魚霊を慰め、豊漁を祈願した踊り)



ダルマ夕陽